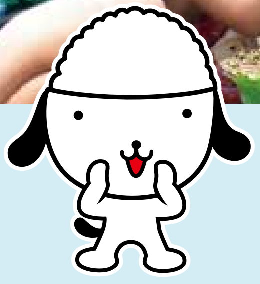
組合員とともに五島農業・地域の未来を拓く

ごとう

※6ページ掲載　奥浦小学校 サツマイモ苗植え



ごはんぢゃワン©

7月号

JA ごとう

2020 No. 173

CONTENTS 目次

☆TOP NEWS
第19回通常総代会

4 新役員紹介
6 食農教育活動
11 リンアイジュース

第19回通常総代会

６月24日。カンパーナホテル（五島市東浜町）で第19回通常総代会を開催しました。審議の結果、提出した議案はすべて承認されました。

会の冒頭、橋詰覺組合長は「計画の基本テーマ『組合員とともに五島農業・地域の未来を拓く』を旗印に農業者の所得増大の実現、総合性の発揮による地域の活性化、組織・経営基盤の強化を目標に、組合員や地域の皆様と共に協同の力で五島が元気になるよう、役職員一丸となって計画達成に向けて取り組んで参りたいと思います。」と挨拶しました。

ＪＡは今回の通常総代会で承認された計画等の実践に取り組んでいきます。

組合員とともに五島農業・地域の未来を拓く

～第五次中期経営計画基本テーマ～

第19回通常総代会議案

報告事項1 令和元年度貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに独立監査人の監査報告及び監事の監査報告について

令和元年度の事業報告内容をご説明し、ご承認をお願いいたします。
あわせて、当期の未処分剰余金について法定事項の所要の積立その他当組合定款に基づく積立金並びに配当として処分を行い、残余を繰り越すことのご承認をお願いするものです。

第2号議案 令和2年度 事業計画設定の件

令和2年度の事業計画のご承認をお願いするものです。
ただし、年度途中において事業計画の変更が生じた場合でも、軽微な変更でかつ組合員に特別の負担を伴わない限りにおいては、理事会に一任願います。

第3号議案 固定資産取得・処分の件

管内農業の深耕と魅力ある事業展開を維持するために、自己資本の基準の維持と施設の有効活用を念頭に置きながら、固定資産の取得・改善等についてご承認をお願いするものです。
ただし、具体的な取得・処分の時期及び金額については、理事会に一任願います。
なお、年度途中において取得・処分計画に変更が生じた場合でも、軽微な変更で、かつ組合員に特別の負担を伴わない限りは、理事会に一任願います。

第4号議案 令和2年度 理事及び監事の報酬支給額決定の件

役員の報酬については、昨年度の支給実績及び事業実績、経済情勢の変化等諸般の事情を踏まえ提案しております。
理事の報酬は総額37,800千円以内とし、各理事の支給額及び支給方法については理事会に一任します。なお、理事は20名であります。
監事の報酬は総額9,580千円以内とし、各監事の支給額及び支給方法については監事の協議に一任します。なお、監事は5名であります。

第5号議案 定款の一部変更の件

「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の成立（令和元年6月14日交付）により、成年被後見人等であることを特定の資格・職種・業務等における欠格者とする条項を設けている法制度について、心身の故障等の状況につき個別・実質的に照らして各業務等に必要な能力の有無を判断する規定へと適正化することとされました。その一環として改正された農協法第30条の4第1項第2号、農協法施行規則第78条の2に伴い、所要の変更を行うものです。
ただし、定款変更の認可申請に際し、法令その他行政庁の指示による定款の字句その他の事項についての修正加除は理事会に一任願います。

第6号議案 規約の一部変更の件

「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の成立による農協法および農協法施行規則の改正に伴う定款変更を受け、所要の変更を行うものです。

第7号議案 信用事業規程の一部変更の件

銀行法施行令等の一部を改正する政令（令和元年政令第139号）等により、大口信用供与等規制が見直しされたことに伴い、関係する規定の整備を行うものです。
ただし、規程変更の承認申請に際し、法令その他行政庁の指示による字句その他の事項についての修正加除は理事会に一任願います。

第8号議案 令和2年産 米麦等のバラ検査及び抽出検査に関する権限委任の件

売渡し米麦等の検査に際し発生した刺米等の受領及び処理について、その取扱いに関する一切の権限を組合に委任することをお願いするものです。

第9号議案 役員選任の件

本総代会の終結をもって理事及び監事全員が任期満了となります。
つきましては、理事20名、監事5名の選任をお願いいたします。なお、監事の議案につきましては、監事の過半数の同意を得ております。

第10号議案 役員退職慰労金支給の件

本総代会の終結をもって退任される役員並びに令和元年度に退任された役員に対し、それぞれ在任中の労に報いるため、役員退職慰労金支給規程に基づき以下により退職慰労金を支給することといたします。
支給総額は24,808千円以内とし、支給額は役員退職慰労金支給規程により算出し、支給時期・方法等は理事会及び監事の協議に一任願います。

付帯決議

この総代会において決議された事項で、権利義務に関しない軽微な事項、字句の修正及び行政庁の指示による修正は理事会に一任願います。

役員紹介

第十九回通常総代会で選任された役員、総代会終了後に開催した第三回理事会で代表理事等を互選、監事会で代表監事、常勤監事を左記の通り互選しました。

代表理事組合長　家永　嘉弘

組合員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、第十九回通常総代会終了後に開催された理事会において、代表理事組合長に選任され就任いたしました。

生産者の高齢化や担い手不足など、五島の農業を取巻く環境は一層の厳しさを増しています。その中で、五島農業の振興とJAの安定発展のため、役職員一丸となって計画達成に向けて取り組んで参りたいと思います。

私はJA職員として三十六年、常務理事として五年の間、皆様方からのご支援・ご協力を賜りながらこれまで任務を全うすることができました。今後も関係各位のご指導を頂きながら、微力ではございますが誠心誠意努力いたす所存でございます。

今後も皆様方のご期待にお応えすべく、健全なJA経営に役職員一同取り組んで参りますので、これまでと同様に、どうか変わらずのご指導・ご協力賜りますよう、お願い申し上げ、就任のご挨拶とさせて頂きます。

代表理事常務　杉本　甚喜

組合員・地域に貢献できるよう健全経営に努めます。

代表理事常務　安田　宏

五島の農業振興と農畜産物の販売拡大、農家経営の安定に努めます。

理事　熊川　甚一

組合員の経営安定のために役職員一体となって、事業運営に努力いたします。

理事　山本　浩

入組して約四十五年間JAでお世話になりました。
今後もJAのために頑張りたいと思います。

理事　佐々野　勝弥

地域の農業振興に努めます。

理事　青山　一美

組合員の営農と生活及び農協の経営を安定・向上すべく努力いたします。

理事　平　康明

農家の皆さんとともに歩めるJAを目指して頑張りたいと思います。

理事　田口　勇

五島の農業振興とJAの安定発展のために努力いたします。

理事　貞方　茂

農家の所得向上、経営基盤の確立に努めます。

理事　木戸　光昭

組合員のために尽力します。

理事　角田　隆章

農家・組合員・職員一体となり、JAごとうの発展のため頑張ります。

理事　今里　誠一

五島の農業、農協の発展に尽力いたします。

理事　山村　徳郎

五島の農業振興に努めます。

理事　増田　博

これまで得た知識を基に、ごとう農業協同組合の今後の益々の発展のため尽力してまいります。

理事　本谷　俊行

JAが今後も発展する様に頑張っていこうと思います。

理事　舛田　好伸

組合員、JAごとうのために組合員の声や意見を取り上げて、より良いJAにするために頑張っていきます。

理事　寺脇　政善

青年農業者が農業を続けていける環境づくりに頑張っていきたいと思います。

理事　谷合　千鶴子

女性農家の声を農協運営に少しでも反映できるよう努力します。

理事　前田　須磨子

JAごとう女性部を日頃の生活に生かせる有意義なグループの集まりにしたい。農と食をもっと近づけて活動できるよう努力します。

代表監事　友岡　正庸

五島列島の農業振興に尽力致します。

常勤監事　嶋里　卓見

JA運営の健全性確保のため、その職務を全うする所存であります。

監事　山内　清一

五島の農業振興に努めます。

監事　松下　充

農協経営の安定に資するため適正な監査・監督に努めます。

監事　小賀　半四郎

地域に貢献できるJAとなるよう努力いたします。

令和二年度　第二回理事会

令和二年六月五日㈮開催

次第

1 議案事項

議案No.1 第十九回通常総代会運営要領（案）について　※可決・承認された

議案No.2 総代会招集及び通知内容並びに総代会参考書類決定の件　※可決・承認された

議案No.3 第十九回通常総代会提出議案について　※可決・承認された

議案No.4 決算書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び事業報告並びにこれらの附属明細表）及び部門別損益計算書承認の件　※可決・承認された

議案No.5 令和二年度事業計画設定の件　※可決・承認された

議案No.6 固定資産の取得処分の件　※可決・承認された

議案No.7 出資金の減口について　※可決・承認された

議案No.8 後継者育成対策積立金の貸与について　※可決・承認された

議案No.9 令和二年度コンプライアンス・プログラム実践計画について　※可決・承認された

議案No.10 令和二年度余裕金運用方針について　※可決・承認された

議案 その他

2 報告事項

報告No.1 主な事業経過と行事予定について

報告No.2 産直市場「五島がうまい」四月末実績について

報告No.3 令和二年四月末食肉販売実績について

報告No.4 令和二年五～六月期県内家畜市場市況について

報告No.5 総代会事前説明資料に対する質疑・回答について

報告No.6 第五次中期経営計画の進捗状況について

報告No.7 令和元年度第4四半期コンプライアンス・プログラム実践報告について

報告No.8 令和元年度第4四半期苦情・相談等対応状況報告について

報告No.9 令和元年度第4四半期余裕金の運用状況について

報告No.10 令和元年度第4四半期自主検査の結果について

報告No.11 反社会的勢力排除対応管理先対応状況について

報告No.12 令和元年度下期監事監査の結果について

報告 その他

令和二年度　第三回理事会

令和二年六月二十四日㈬開催

次第

1 議案事項

議案No.1 仮議長選任について　※可決・承認された

議案No.2 役付理事及び代表理事の選任について

1）役付理事　※4ページのとおり

2）代表理事　※4ページのとおり

議案No.3 役員退職慰労金の支給時期・方法について　※可決・承認された

議案No.4 令和二年度理事の報酬支給額及び支給方法について　※可決・承認された

議案No.5 専門委員会及び子会社役員の構成について　※可決・承認された

議案No.6 行政庁へ提出する業務報告書及び連結業務報告書について　※可決・承認された

議案No.7 理事の利益相反取引について　※可決・承認された

2 報告事項

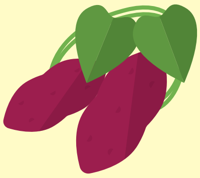
報告No.1 理事研修受講について

報告No.2 固定資産の入札結果について

各地区で食農教育活動

本山小学校

　５月28日。青年部本山支部は本山小学校の２年生とサツマイモの苗を植えました。児童は青年部に植え方を教えてもらいながらあっという間に植え終えました。



三井楽中学校

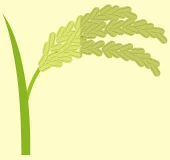
　６月３日。青年部西部・三井楽支部は三井楽中学校の全校生徒とサツマイモの定植をしました。学年ごとに分かれて畝を立てることからスタート。青年部やＪＡ職員の指導を受けながら立派に植えることができました。

奥浦小学校

　６月４日。青年部福江支部は奥浦小学校の児童とサツマイモの定植をしました。最初にＪＡ職員から竹の棒を使った挿し方を教えてもらい、作業スタート。児童は苗植えから収穫、かんころ餅作りまでを体験します。

玉之浦小学校

　６月12日。ＪＡごとう西部・三井楽支部は玉之浦小学校の児童と田植えをしました。苗は５・６年生がＪＡ職員と水やりをして管理しました。「田植え頑張るぞー！」の掛け声で作業スタート。低学年は高学年に習って協力しながら植えていきました。



交通安全の黄色い傘

ー学童傘贈呈式ー

橋詰組合長から藤田清人教育長へ

中山専務から道津利明教育長へ

６月４日（下地区）、８日（上地区）、教育委員会にて学童傘贈呈式を行いました。ＪＡ共済では地域貢献活動に取り組んでいる中で今年度につきましても交通安全啓発運動の取り組みの一環として「こどもの交通事故防止」に向けて「学童傘」をＪＡから教育委員会へ贈呈しました。令和２年度の新一年生全員に贈呈されます。

油槽所 防災訓練

６月９日。油槽所で消防訓練を行いました。実際に出火した場合を想定して放水訓練、消火訓練をしました。参加した職員は真剣な表情で訓練に臨んでいました。

五島牛半額

ー県産農畜産物消費喚起対策ー

六月二十・二十一日の両日。『産直市場五島がうまい』『Ａコープ浦桑店』は県産農畜産物消費拡大キャンペーンとして、五島牛全品を半額で販売しました。新型コロナウイルスにより落ち込んだ牛肉、花き等の消費喚起対策の一環として県下ＪＡのＡコープ、農産物直売所において消費拡大キャンペーンを展開しています。

牛肉半額商品や四割引商品を買おうと多くのお客さんが集まりました。

半額のお肉を手にしたお客さんは「今日はごちそうだ」と笑顔を浮かべていました。

定期合同総会

公益社団法人全国和牛登録協会長崎県支部五島支所、五島和牛育種組合、ごとう和牛能力向上推進委員会の三団体は、定期合同総会を開催しました。コロナウイルス感染予防対策として規模を縮小しての開催。各団体はそれぞれ令和元年度の活動を報告し、令和二年度の活動計画を決定しました。

ごとう農協 肉用牛部会役員総会

令和元年度においては、ＪＡを中心に生産者及び関係機関が一体となり、畜産クラスター事業により四棟の牛舎建設をしています。また家畜導入事業等（クラスター、増頭、維持）を活用し、育種価能力の高い母牛群形成のため、平茂晴、金太郎３の産子など六一八頭の導入、保留を行い、年度末飼養頭数は四九七五頭になりました。

令和二年度も増頭対策として、各種事業の活用・導入・保留を進めるとともに、一戸一頭増頭運動を積極的に推進し、牛舎建設農家やキャトルセンター預入農家に対して増頭推進を図ります。子牛価格の維持のため、積極的な購買者誘致や指定交配による優良子牛生産に努めます。また、防疫対策として、衛生管理と消毒に努めます。

ごとう農協茶部会総会

6月15日。ごとう農協茶生産部は総会を開催しました。令和元年度実績を報告、令和元年度報告並びに収支決算書を承認しました。また、茶販売促進緊急事業について話し合いました。

茶生産者の年間所得の大半を占める一番茶は新型コロナウイルスの影響により、本茶平均単価が前年比90％となっており、経営が非常に厳しい状況となっています。茶商の在庫も残っており、茶単価低迷の影響が長期にわたる可能性があります。そこで県内観光地・宿泊施設における茶のPR・配布イベントの開催、小中学校での茶育等に取り組み、県内外での長崎県産茶の認知度向上・消費拡大を図ることで、茶生産者の経営を回復することを目指します。

令和2年産 胡瓜出荷会議

6月17日。本店二階会議室で令和2年産キュウリ出荷会議を開きました。

令和元年産の栽培戸数134戸で11・14㌶を栽培。ハウス栽培については、富江・福江地区で2月中旬から3月中旬頃定植が行われ、4月15日より青果用として出荷が開始。路地栽培においては、ソラマメの後作として5月上旬から中旬の定植が主流となっており、天候にも恵まれ、順調な生育でした。6月下旬から出荷のピークを迎え、大規模な台風被害を受けることもなく、終盤まで順調に収穫することができました。

今年産は600㌧の出荷を目指します。

未来を拓く協同組合 SDGsとJA

未来を拓く協同組合 SDGsとJA

監修＝JCA（日本協同組合連携機構）

住み続けられるまちづくりを

現在、世界人口の半分の約35億人が都市で暮らし、これからも増え続けると予測されています。日本も都市部に人口が集中し、一方で農村部は人口減少や高齢化が進んでいます。国連が掲げるSDGs（エスディージーズ、持続可能な開発目標）では「住み続けられるまちづくりを」を目標の一つに掲げています。

地域に住み続けるためには金融機関、食料品店舗、ガソリンスタンドなど社会的なインフラが欠かせません。JAは移動金融店舗車を巡回したり、食料品の移動購買車を運行するとともに高齢者の見守り活動をしたりしています。また、JAや生協等の協同組合間で連携し、暮らしの困りごとを支援する事例もあります。さらに、都市農業の営みにより都市部の農地が維持され、環境保全や災害発生時の防災機能の発揮等にもつながっています。自治体と包括協定を結ぶ事例も全国的に広がっており、住み続けられるまちづくりを後押ししています。

SDGsに関連する主な取り組み

地域の困りごと解決（島根）

生協や医療生協、JA、社会福祉協議会が連携し、有償の助け合いシステム「おたがいさま」を実施しています。暮らしの困りごとを住民が協力して解決する取り組みです。困りごとがある「利用者」とそれを助ける「応援者」を「コーディネーター」が結び付けて、解決に導きます。

困りごといろいろ・応援いろいろ

家　事	掃除・洗濯・買い物・食事づくり・ゴミ出し
介　助	散歩・話し相手・外出や通院の付き添い
育　児	子どもの遊び相手・保育園等の送り迎え
その他	草取り・電球交換・衣類のお直し・お墓の掃除

災害復興支援（岩手）

2017年に発生した岩手県釜石市の大規模林野火災に対し、2018年に岩手県協同組合提携協議会が県内の協同組合に参加を呼びかけ、JAグループや生協、漁協、森林組合が連携して森林再生の植樹を実施しました。

JCA資料等から作成

耕そう、大地と地域のみらい。

令和２年産 小麦・裸麦検査

管内のライスセンターで小麦・裸麦の検査を行いました。

小麦『長崎Ｗ２号』（142㌧）、『チクゴイズミ』（41㌧）と裸麦『長崎御島』（86㌧）の容積重・形質等を調査。

結果は小麦が２等、裸麦が１等でした。

普通期水稲苗配布

６月10日から17日にかけて管内の育苗施設では普通期水稲苗を配布しました。

育苗施設で約３週間育てられた苗を次々に積み込んでいきました。苗は各農家の田んぼへ植えられ、10月上旬ごろ刈り取り予定です。

○　経営継続補助金

【令和２年度第２次補正予算額　20,037百万円】

<対策のポイント>

新型コロナウイルス感染症の影響を克服するために、**感染拡大防止対策**を行いつつ、**販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取組を総合的に支援**することによって、**地域を支える農林漁業者の経営の継続**を図ります。

<事業目標>

地域を担う農林漁業者の経営の継続（令和３年度までに利益又は売上が増加する農林漁業者の割合が80%以上）

＜事業の内容＞

○対象者

農林漁業者（個人及び法人）※常時従業員数は20人以下のもの

○対象となる取組・補助率

（１）農協、森林組合、漁協等の「支援機関」による計画作成・申請から実施までの伴走支援を受けた、①～③のいずれかを含む**経営の継続に向けた取組**を支援。
【補助率　3/4（補助上限額は100万円）】

① 国内外の販路の回復・開拓
② 事業の継続・回復のための生産・販売方式の確立・転換
③ 円滑な合意形成の促進等

※補助対象経費の1/6以上を業種別ガイドライン等に則した「接触機会を減らす生産・販売への転換」又は「感染時の業務継続体制の構築」に充てる必要。

（２）事業活動別本格化のための業種別ガイドライン等に則した感染防止対策
【補助率　定額（(1)の補助額が上限。ただし50万円まで）】

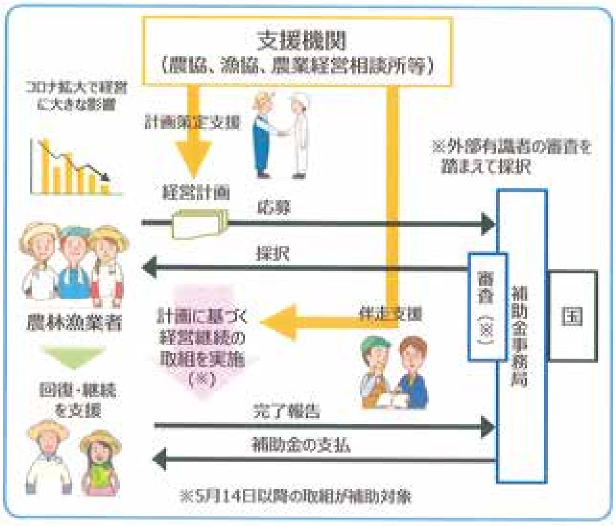
○留意点

本事業は、**給付金ではありません。**一定の行為に対して補助するものであるため、**自己負担が発生**します。例えば、(1)につき100万円、(2)につき50万円、合わせて**最大150万円の補助**を受ける場合の**自己負担は約33万円**となります。
(共同申請では、**最大1,500万円の補助**を受ける場合の**自己負担は約330万円**)

<事業の流れ>

国 →（定額）→（一社）全国農業会議所 →（3/4、定額）→ 農林漁業者

＜事業イメージ＞



［お問い合わせ先］経営局経営政策課（03-6744-0576）

※詳しくはＪＡ支店 営農経済課まで

野菜ソムリエ上級プロ KAORUの

ベジタブルライフ

イラスト：小林裕美子

もやし

～節約野菜の王様～

現在、日本では、リョクトウやブラックマッペ、大豆を種子とするもやしが主に生産されていますが、広い意味ではカイワレやスプラウトなどの発芽野菜も、もやしの仲間といえます。

もやしのプロフィル

【分類】マメ科

【原産地】インド（リョクトウ）

【おいしい時期（旬）】通年

【主な栄養成分】アスパラギン酸、カリウム、葉酸、鉄、ビタミンB群・C、タンパク質など

解説：KAORU

もやしの力

主な栄養成分と期待される効能

- カリウム：高血圧予防
- 葉酸・鉄分：貧血予防
- ビタミンB群：代謝促進
- ビタミンC：免疫力向上

豆の栄養素と発芽野菜としての栄養素も併せ持つ

発芽野菜の特徴

発芽によってビタミンCの含有量が増加

発芽部分は消化酵素・ジアスターゼを含み、胃腸の働きを整える効果も期待できる

ダイエット

約95％が水分。低カロリーでヘルシー。食物繊維も豊富

注目成分 アスパラギン酸

新陳代謝を促して疲労回復に作用！

見分け方

- 適度に太さがあり全体的に白い
- 全体に張りとつやがある
- 透明感がある
- 袋を持ってしっかりとした堅さを感じる

NG

- 全体的に褐色になっている
- 水っぽくしんなりしている
- 変色している 折れている

保存方法

基本的には使う日に買ってきてなるべく早く食べ切る

急げ急げ

鮮度劣化とともにビタミンCなどの栄養や食感が落ちてしまう

冷蔵保存

野菜室より温度の低いチルド室の方が日持ちする

袋のまま、または保存容器に入れ全体が浸るくらいの水を入れてふたをして保存。水はできるだけ毎日交換。水に浸すと約1週間日持ちする

冷凍保存

上手に冷凍保存すれば1カ月日持ちする。炒め物や汁物などに利用

購入した袋のまま、または洗って水気を切り冷凍用保存袋に入れ、空気を抜いて保存

もやし

お薦め

生のまま保存するより、すぐ調理して作り置きおかずに

もやしのいろいろ

リョクトウもやし

国内の主流品種で、リョクトウ（マッペ）を原料にしたもの。軸が太めで、シャキシャキとした食感。価格の手頃さも魅力

大豆もやし

別名「豆もやし」。大豆を原料としたもの。豆の歯応えとうま味を楽しめる。韓国料理のビビンバやナムルには定番

ブラックマッペ

ブラックマッペ（黒リョクトウ）が原料で、「黒豆もやし」とも呼ぶ。しっかりした食感と、豆のほのかな甘味が特徴

楽しみ方・食べ方のコツ

注意

水に長く浸すとビタミンCなどの栄養が流れ出してしまう。水洗いはざるにあげて手早く！

ひげ根

そのままでもOK 食感や見た目が気になる場合は、つまんで取り除く

加熱調理が基本

ゆでた後は水にさらさない バットやざるに広げるなどして冷ます

おいしいゆで方

歯応えを保つため短時間でゆでる

※蒸し物、炒め物、汁物などの具材にする場合は下ゆで不要

シャキ

リョクトウもやし ブラックマッペ

油適量と塩一つまみを加えた湯に入れ、再沸騰してから10～15秒ほどゆでる

10～15秒

大豆もやし

水と一緒に鍋に入れて沸騰後、豆に火が通るまで1～5分ゆでる

1～5分

リョクトウもやし

炒め物 おひたし 蒸し物 あえ物 鍋物

大豆もやし

スープやあえ物に

ブラックマッペ

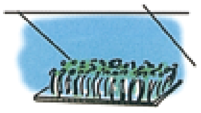
鉄板焼きやお好み焼きに

もやしのヒミツ

「スプラウト」の一種。豆類の種子を軟白栽培（日光を当てずに栽培）して発芽させた若芽の総称

名の由来

萌(も)ゆ → 萌やす → 萌やし



光を遮断した施設内（室内）で水耕栽培。袋詰めまで1週間のスピード栽培

歴史

平安時代には「もやし」という名前は存在していたと考えられる

緑豆をもやしにして味甚(はなはだ)よし

江戸時代には食べる習慣があった？

2020年 製品のご案内
リンアイジュース
JA全農ながさき
長崎県大村市富の原2丁目704
TEL 0957-55-1111（代） FAX 0957-55-1116
★新食感★ さわやか ゆずジュレ
新登場!
紙パック 1,000ml
1 長崎みかん100 1,000ml×6個 ¥1,540
2 長崎みかん50 1,000ml×6個 ¥1,320
3 フルーツ&キャロット 1,000ml×6個 お得な新価格 ¥1,680
4 国産烏龍茶 1,000ml×6個 ¥920
5 ながさき玉緑茶 1,000ml×6個 ¥920
紙パック 200ml
6 ストレートみかん 200ml×18個 ¥2,160
7 ストレートもも 200ml×18個 ¥2,160
紙パック 210g
8 新商品 ストローで飲む ゆずジュレ 210g×18個 ¥1,620
ボトル缶 490ml
9 そのぎ茶 490ml×24缶 ¥3,000
10 スポーツドリンク 490ml×24缶 ¥3,000
ボトル缶 290ml
11 そのぎ茶 290ml×24缶 ¥2,520
12 世知原茶 290ml×24缶 ¥2,520
13 五島茶 290ml×24缶 ¥2,520
14 ゆず 290ml×24缶 ¥2,520
ボトル缶 280g
15 ブラックコーヒー 280g×24缶 ¥2,520
缶 350ml
16 サイダー 350ml×24缶 ¥1,850
缶 190g~195g
17 長崎みかん100 195g×30缶 ¥2,650
18 みかんつぶつぶ 195g×30缶 ¥2,650
19 びわの葉茶 190g×30缶 お得な新価格 ¥2,400
20 国産りんご100 195g×30缶 ¥2,650
21 赤い野菜ミックス 190g×30缶 ¥3,090
ペットボトル 500ml
22 炭酸水 500ml×24本 お得な新価格 ¥1,980
ジュースや焼酎、ウイスキーのソーダ割りやお料理にも。
瓶 200ml
23 国産烏龍茶 200ml×24本 ¥2,380
瓶 495ml~500ml（贈答用）
24 贈答用 長崎恋みかん させぼ温州（500ml）1、原口（500ml）1セット ¥2,160
25 贈答用 長崎恋みかん・長崎びわ させぼ温州（500ml）1、原口（500ml）1、長崎びわドリンク（495ml）1セット ¥3,240
※ 季節商品 4月~10月の販売です。
※●で囲まれた番号の商品は県内産の農産物を使用しています。
※（3と14は一部県内産農産物を使用しています。）
※表示価格はすべて消費税込みです。
（2020年4月1日改訂）

7月1日より

移動店舗車巡回ルートが変更になりました

移動店舗では、この度、本山管内における営業場所が追加され、
営業日が変更となりますのでお知らせいたします。
下記のとおり巡回しますので皆様のご利用をお待ちしております。

曜日	巡回時間・場所		
月	9時15分～10時20分 大津詰所	11時～12時 大浜店舗	14時～14時45分 旧大宝中学校跡地
火		11時～12時 野々切相愛会館	14時～15時 玉之浦出張所
水		11時～12時 大浜店舗	14時～15時 小川生活館
木		11時～12時 野々切相愛会館	14時～14時45分 旧大宝中学校跡地
金		11時～12時 大浜店舗	14時～15時 玉之浦出張所

施設作業員募集

作業期間	作業場所
3月～11月	育苗センター
3月～10月	アスパラ選果場
12月～5月	ブロッコリー選果場
12月～3月	高菜加工施設

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。
☎0959-72-6214

富江トマト選果場作業員募集

作業期間　9月中旬～6月中旬
作業場所　山手トマト選果場
（富江ライスセンター横）

詳細は富江支店 営農経済課までお問い合わせください。
☎0959-86-2111

葬儀のことなら誠意と真心で奉仕する
株式会社JAごとう葬祭
斎場 浄倫会館
事前相談受け付けております。
【本店】
〒853-0041　長崎県五島市籠淵町2450
TEL 0959(72)8211　FAX 0959(74)5266
【上五島支店】
〒857-4404　長崎県南松浦郡新上五島町青方郷355-7
TEL 0959(52)2417　FAX 0959(43)1955

産直市場
五島がうまい
住所：〒853-0041　五島市籠淵町2450番地1
電話：0959-88-9933　FAX：0959-88-9922
営業時間：9時～19時（4月～9月）
9時～18時30分（10月～3月）
※農家レストランは10時30分～15時（予約については別途）
※土日限定バイキング　11時～15時
料金　大人：1,100円　子ども：620円（小学生以下）
定休日：原則年中無休

編集後記

すっかり夏の気温になり、気づくと着ていたものも長袖から半袖へと移り変わっていました。
皆さん、五島牛半額商品を買うことが出来ましたか？外出自粛期間、外食があまりできなかった分、お家で少し贅沢な食事ができたのではないでしょうか。
先月は毎年恒例となっている食農教育活動が各地区の小・中学校で行われました。一生懸命苗を植える子供たちのまぶしい表情に私も元気をもらいました。これから暑い日が続くと思いますが、旬の野菜をたくさん食べ、熱中症に気をつけながら過ごしましょう。

（田口　愛望）

JAごとう農業協同組合
●ＪＡごとうNo.173　●発行／ごとう農業協同組合　編集／総務部企画管理課　〒853-0041　五島市籠淵町2450番地1　☎0959-72-6211
●http://www.ja-goto.or.jp　●印刷／（株）昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。